

第2次中期5カ年経営計画

「PINE DASH 1000」

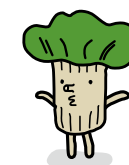
～ 躍動、輝ける未来のために ～

Speciality Chemical Partner



2008年3月6日

荒川化学工業株式会社



目次

1. 経営方針

2. 第1次中期5ヵ年経営計画の振り返り

- ・基本方針
- ・業績目標達成状況
- ・セグメント別状況（連結）
- ・新規事業（連結）
- ・海外展開（連結）

3. 第2次中期5ヵ年経営計画の概略

- ・基本方針
- ・キャッチフレーズ
- ・業績目標（連結）
- ・セグメント別目標（連結）

4. 第2次中期5ヵ年経営計画の戦略

- ・基盤事業と伸長事業について
- ・基盤事業 + 伸長事業
- ・基盤事業のさらなる拡大
- ・伸長事業の拡大
- ・伸長事業の製品群
- ・海外展開
- ・新規事業・新技術の創生
- ・経営・事業基盤の整備と強化
- ・投資金額、減価償却費および研究開発費

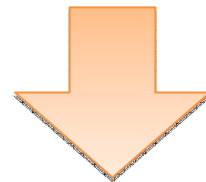
5. 株主還元策

6. まとめ

1 . 経営方針

荒川化学グループのビジョン

ロジンに代表される地球に優しい素材を通して
社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー



株主、取引先、社員および社会に貢献して
企業価値を高めていく

2 . 第1次中期5ヵ年経営計画の振り返り

2003～2007年度

2 - 1 . 基本方針

将来に向けた継続的な発展と企業価値の向上を目指し、顧客から信頼され、且つ社員一人ひとりが会社の仕事や自分の将来に夢を持ち、それを果たせる企業としての変革を行う。

1) 既存事業の再構築

事業部門ごとの事業の見直し、徹底したコストダウンを推進する

2) 新規事業の創生

次なる事業の柱の確立を目指し、新規事業の創生を推進する

3) 国際展開

アジア地域、特に伸長が著しい中国における市場開拓を推進する

4) 新たな経営の仕組みの構築

責任と権限を明確にし、機能別最適から事業別最適の経営を目指す

2 . 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

2 - 2 . 業績目標達成状況

(単位：百万円)		2002年度	2007年度 (予想)	2007年度 (目標)	5カ年 伸率%
売上高	(連結)	43,173	66,000	57,000	+52.9
	(単独)	40,050	53,400	46,000	+33.3
営業 利益	(連結)	2,495	3,100	3,800	+24.2
	(単独)	1,542	1,450	2,350	6.0
経常 利益	(連結)	2,559	3,350	4,000	+30.9
	(単独)	1,888	2,350	2,800	+24.5
当期 純利益	(連結)	746	1,950	2,200	+161.4
	(単独)	502	1,550	1,750	+208.8
売上高 経常利益率	(連結)	5.9%	5.1%	7.0%	
	(単独)	4.7%	4.4%	6.1%	

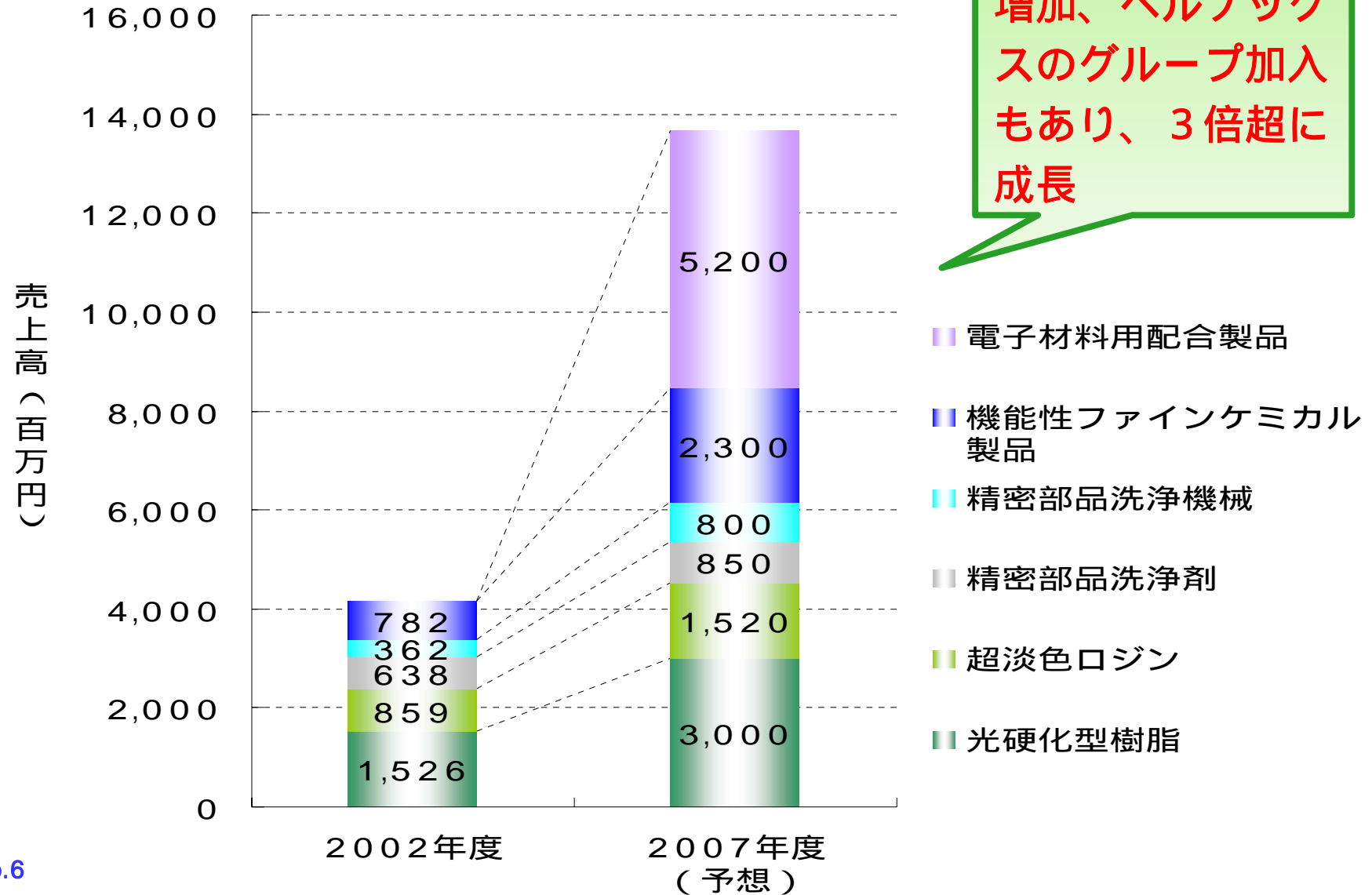
2 . 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

2 - 3 . セグメント別状況 (連結)

(単位：百万円)		2002年度	2007年度 (予想)	5カ年 伸率%
製紙用薬品 事業	売上高	16,954	23,620	+39.3
	営業利益	860	1,280	+48.8
	営業利益率	5.1%	5.4%	
工業用樹脂 事業	売上高	25,535	41,270	+61.6
	営業利益	1,624	1,740	+7.1
	営業利益率	6.4%	4.2%	
その他事業	売上高	682	1,110	+62.8
	営業利益	10	80	+700.0
	営業利益率	1.6%	7.2%	
合 計	売上高	43,173	66,000	+52.9
	営業利益	2,495	3,100	+24.2
	営業利益率	5.8%	4.7%	

2. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

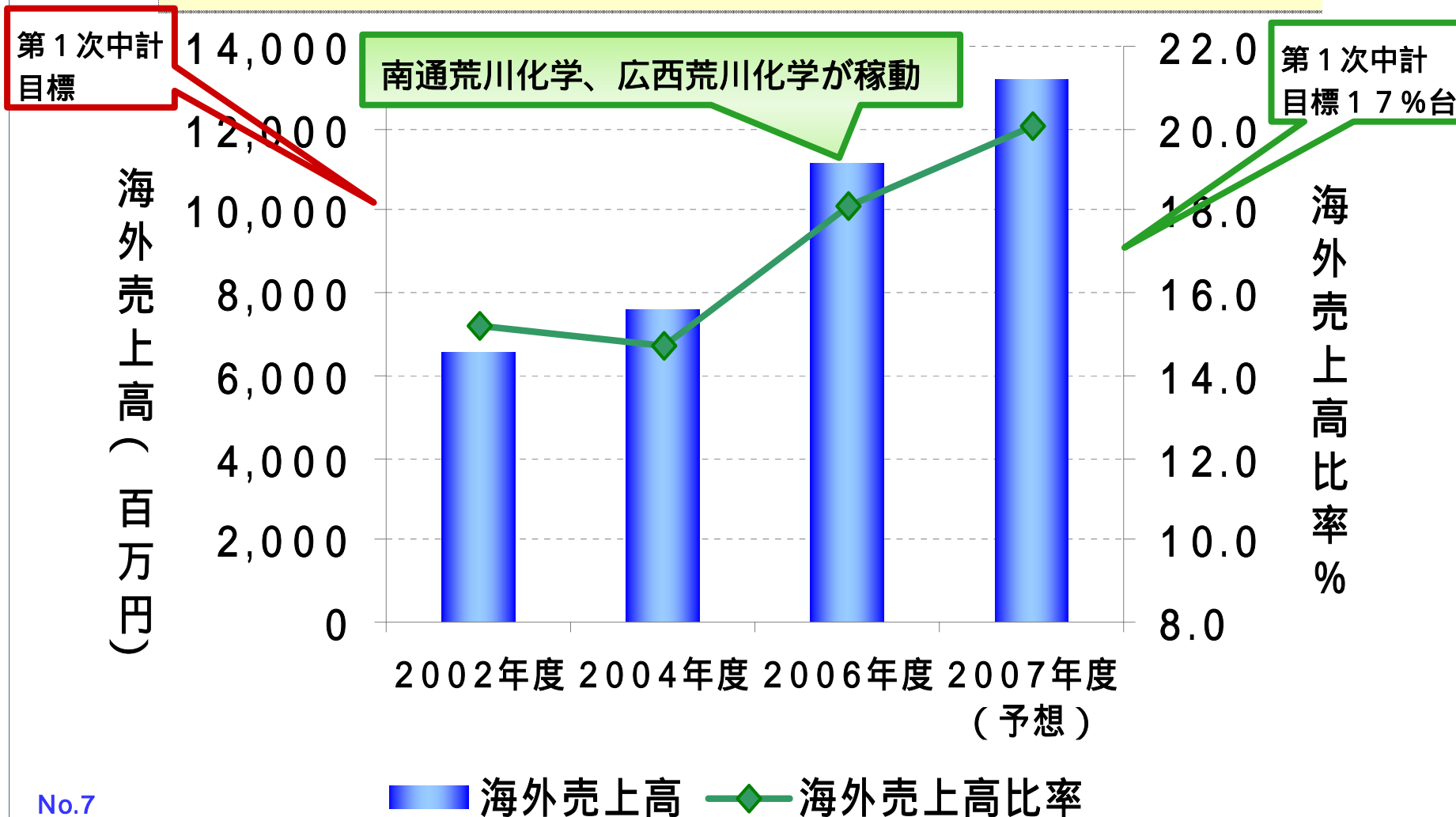
2-4. 新規事業（連結）



2. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

2-5. 海外展開（連結）

2006年度に第1次中計の目標を前倒しで達成



3 . 第2次中期5ヵ年経営計画の概要

2008～2012年度

3 - 1 . 基本方針

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

1) 基盤事業のさらなる拡大

徹底した低コスト体質への変革、事業の集中・拡大や縮小・撤退の選択

2) 伸長事業の拡大

高付加価値分野の用途開発、高収益性を確保しながら量的拡大へ

3) 新規事業・新技術の創生

基盤・伸長各事業の拡大に必要な技術の開発、不足技術の確保

4) 経営・事業基盤の整備と強化

事業組織のさらなる強化と経営資源の最適配分、グループ最適の経営へ

3 . 第 2 次中期 5 カ年経営計画の概要



3 - 2 . キャッチフレーズ

「PINE DASH 1000」

～ 躍動、輝ける未来のために ～

- 「PINE」： 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ
本業重視を継続する
Proactive Innovation for New Era
新しい時代へ、新機軸の先取り
- 「DASH」： **Dynamic Action for Shining History**
躍動、輝ける未来のために
- 「1000」： 当社創業140周年となる2016年度には、
企業成長のひとつのベンチマークである
売上高1,000億円を超える姿でありたい

3 . 第 2 次 中 期 5 カ 年 経 営 計 画 の 概 要

3 - 3 . 業 績 目 標 (連 結)

2012年度目標： 売上高 850億円
 経常利益 55億円
 ROE 7%以上

(単 位 : 百 万 円)	2007年度 (予 想)	2010年度 (目 標)	2012年度 (目 標)	5 年 伸 率 %
売上高	66,000	76,000	85,000	+28.8
営業利益	3,100	4,200	5,200	+67.7
経常利益	3,350	4,300	5,500	+64.2
当期純利益	1,950	2,550	3,300	+69.2
ROE	5.4%		7%	
(参 考)				
償却前営業利益	5,370	7,900	9,600	+78.8

3 . 第 2 次中期 5 ヲ年経営計画の概要

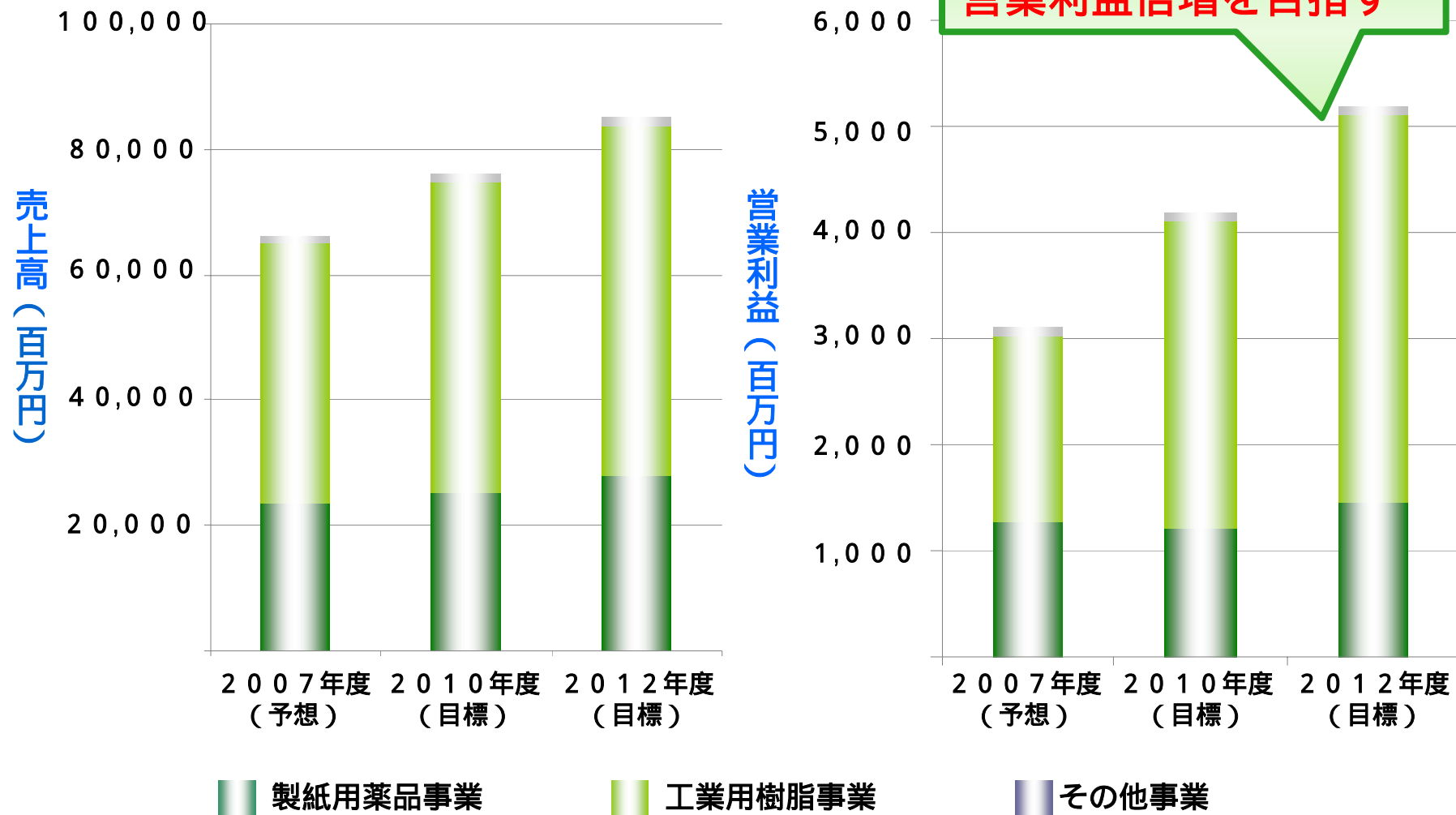


3 - 4 . セグメント別目標 (連結)

(単位 : 百万円)		2007年度 (予想)	2010年度 (目標)	2012年度 (目標)	5 ヲ年 伸率%
製紙用薬品 事業	売上高	23,620	25,100	28,000	+ 18.5
	営業利益	1,280	1,220	1,470	+ 14.8
	営業利益率	5.4%	4.9%	5.3%	
工業用樹脂 事業	売上高	41,270	49,800	55,700	+ 35.0
	営業利益	1,740	2,900	3,630	+ 108.6
	営業利益率	4.2%	5.8%	6.5%	
その他事業	売上高	1,110	1,100	1,300	+ 17.1
	営業利益	80	80	100	+ 25.0
	営業利益率	7.2%	7.3%	7.7%	

3 . 第 2 次 中 期 5 カ 年 経 営 計 画 の 概 要

3 - 4 . セグメント別目標（連結）



4 . 第 2 次 中 期 5 カ 年 経 営 計 画 の 戦 略

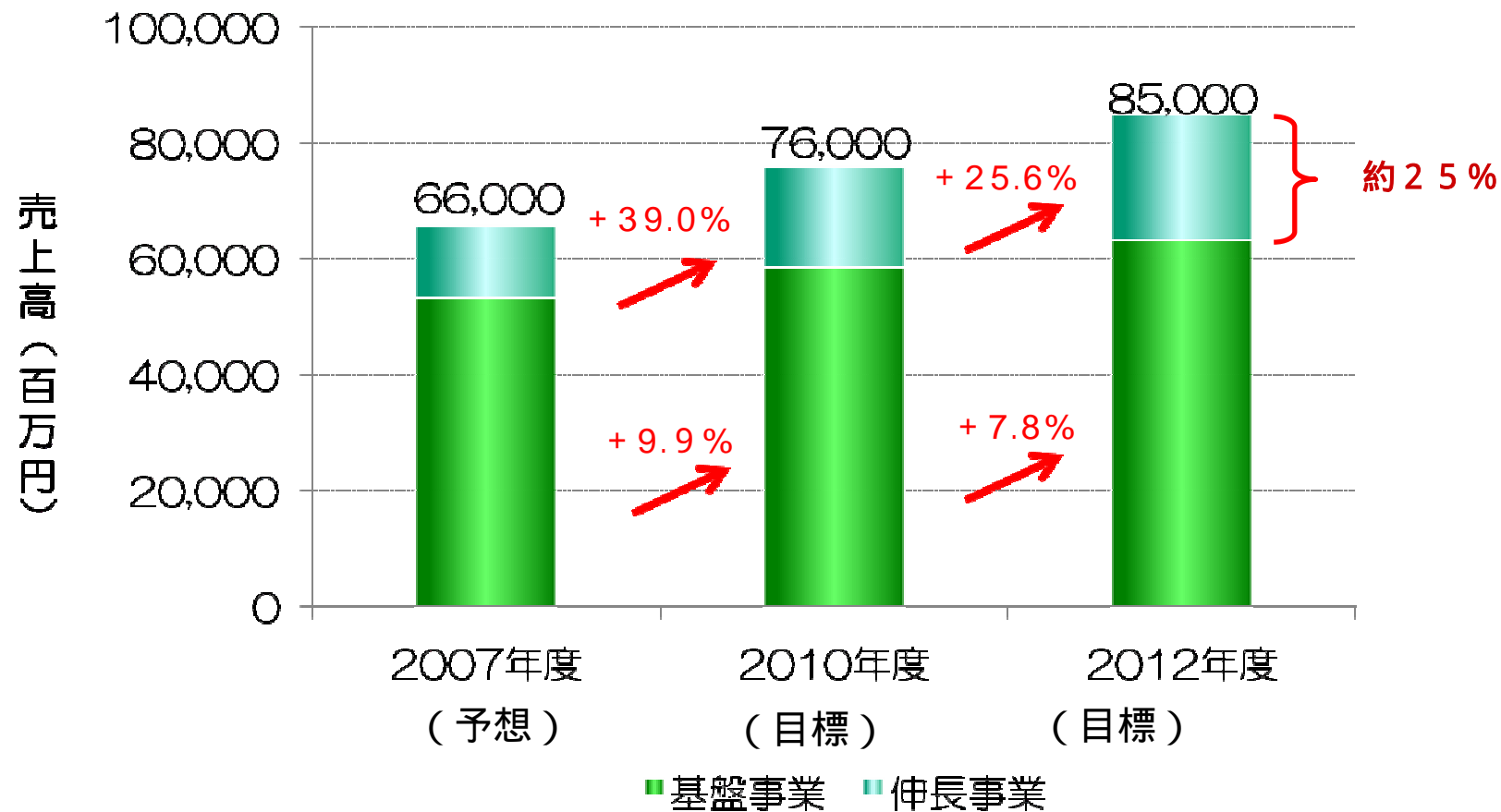
4 - 1 . 基 盤 事 業 と 伸 長 事 業 に つ い て

セグメント別	製紙用薬品事業	工業用樹脂事業			その他事業	
商品分類別	サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品 その他	印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂 合成ゴム重合用乳化剤 超淡色ロジン その他	電子材料用配合製品 光硬化型樹脂 有機・無機ハイブリッド樹脂	機能性ファインケミカル製品 クリームはんだ関連製品 精密部品洗浄剤	精密部品洗浄機械 不動産仲介等	
事業別	製紙用薬品事業	化成品事業		光電子材料事業	機能材料事業	その他事業
基盤・伸長別	基盤事業		伸長事業		その他事業	

4 . 第 2 次中期 5 カ年経営計画の戦略

4 - 2 . 基盤事業 + 伸長事業

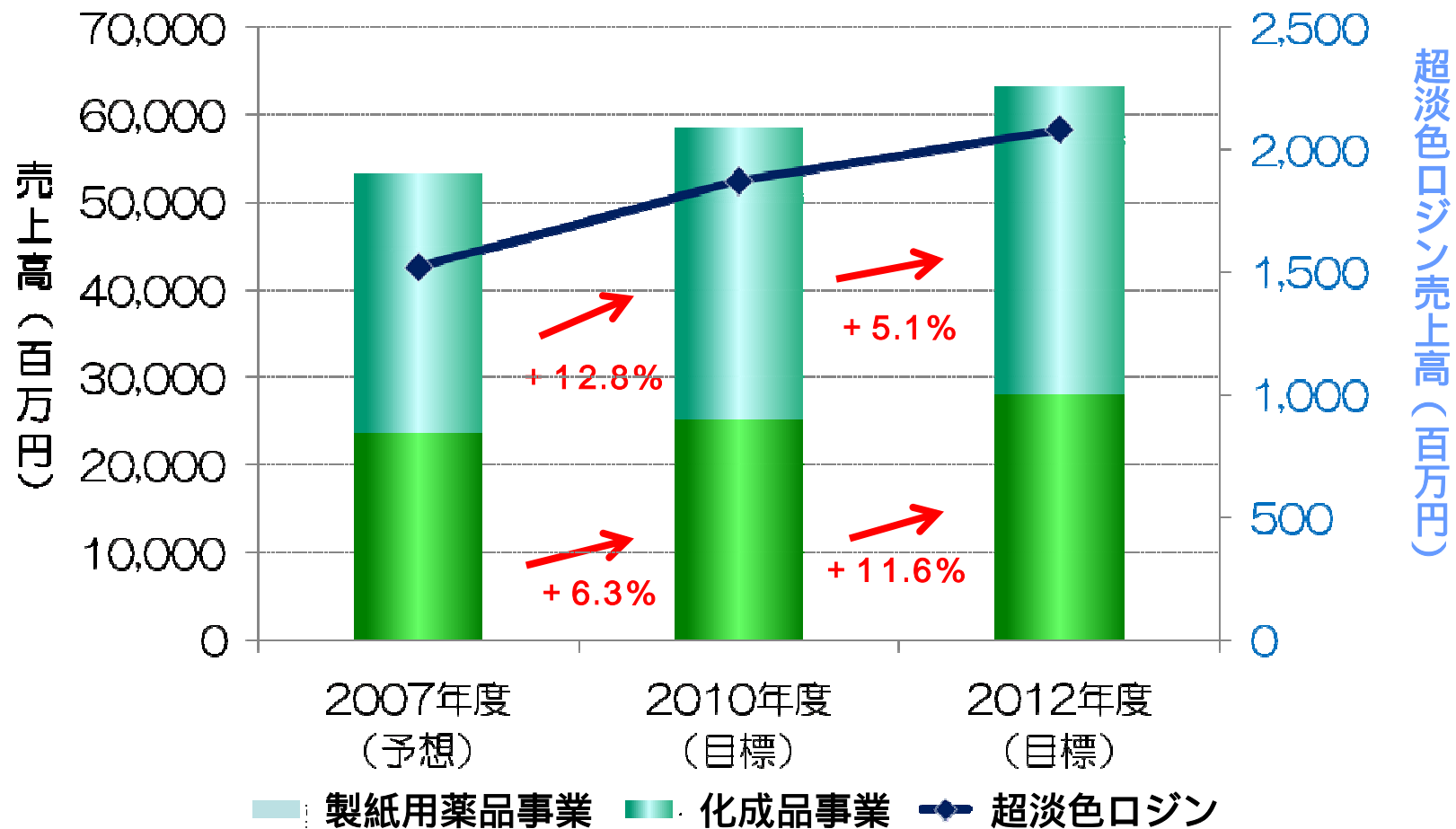
伸長事業の比率を向上、2012年度に約25%を目指す



4 . 第2次中期5カ年経営計画の戦略

4 - 3 . 基盤事業のさらなる拡大（製紙用薬品事業 + 化成品事業）

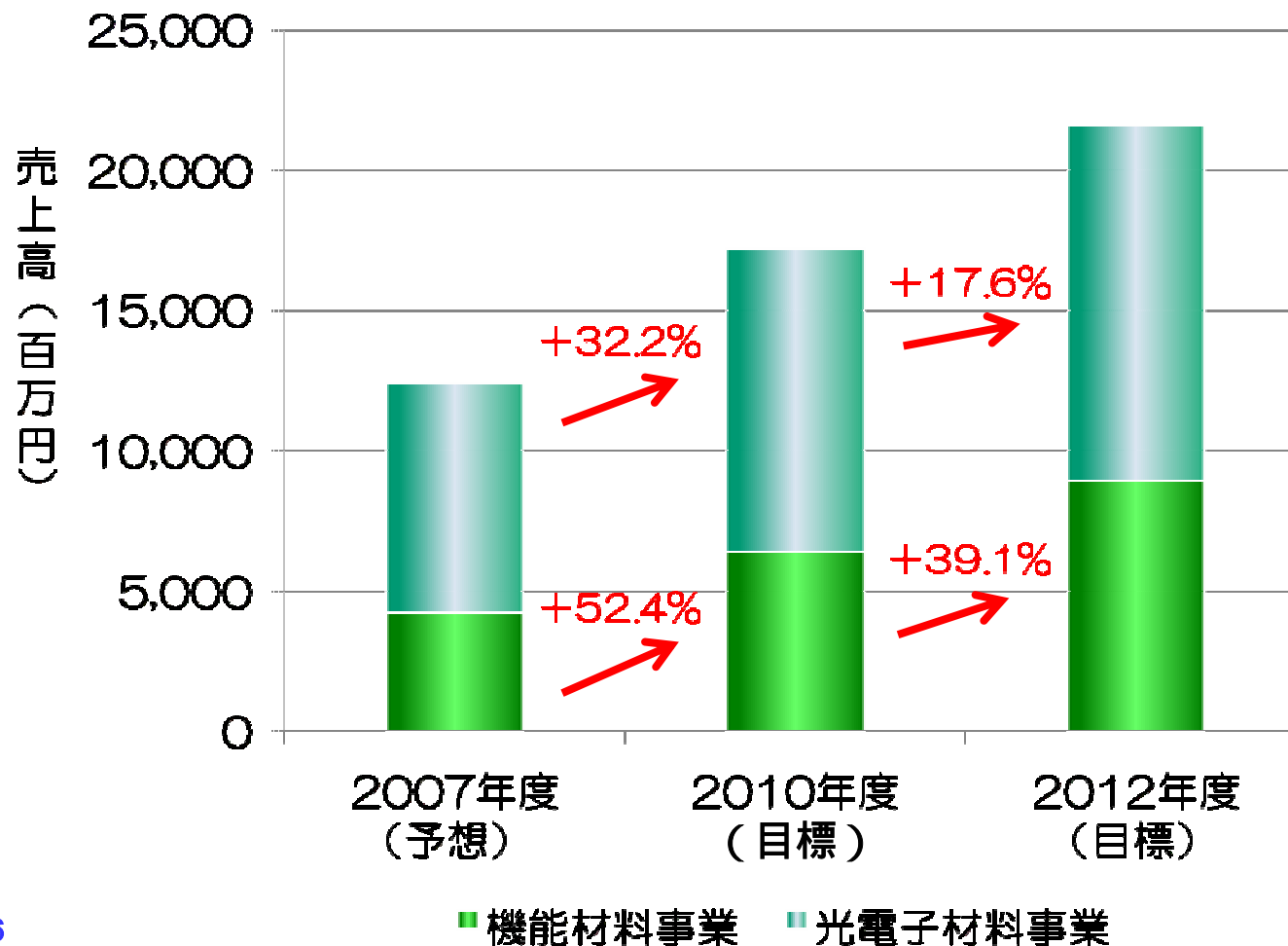
徹底したコスト改善、高付加価値化および海外展開



4 . 第2次中期5ヵ年経営計画の戦略

4 - 4 . 伸長事業の拡大（光電子材料事業 + 機能材料事業）

高付加価値分野の用途開発、海外展開および新製品の開発

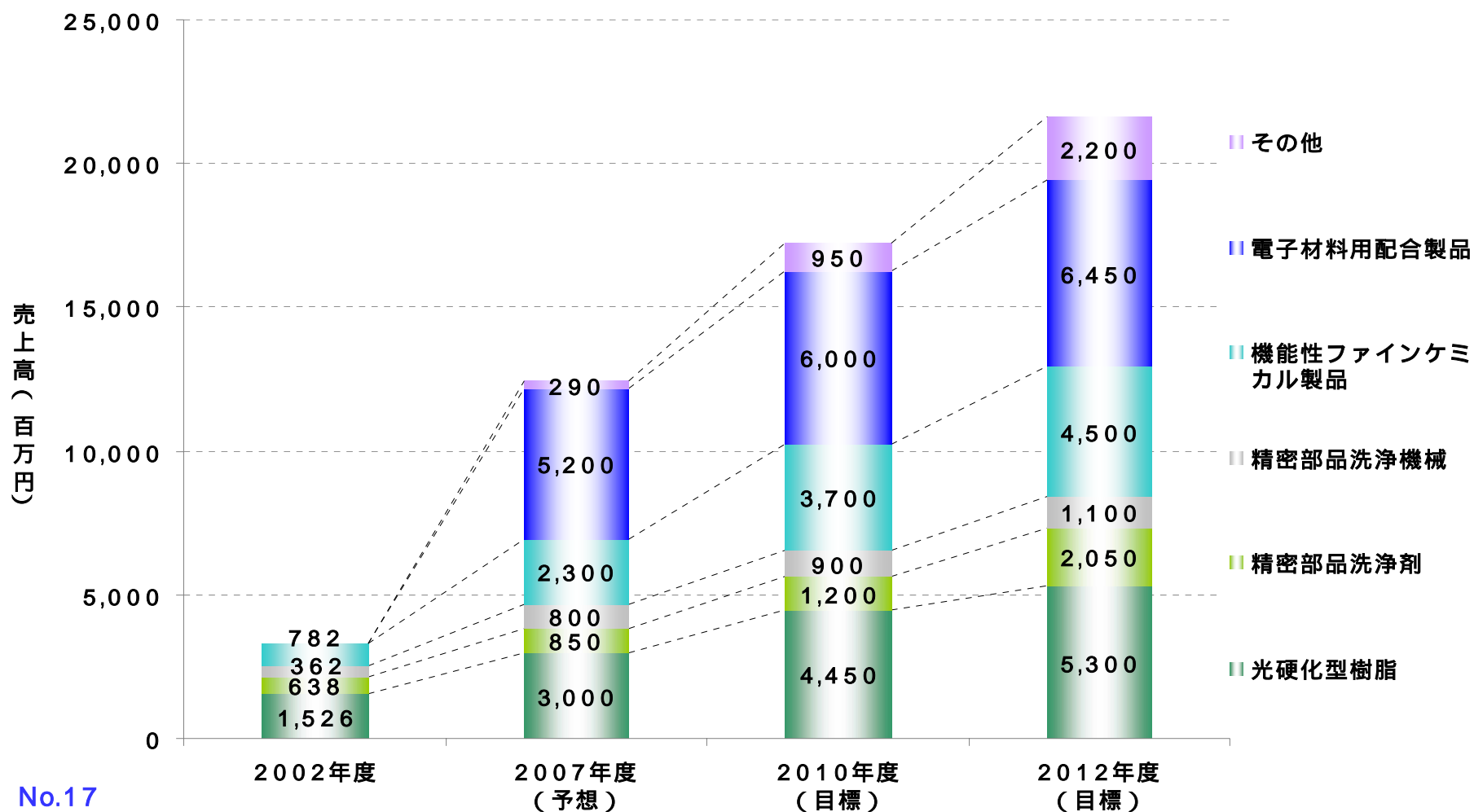


4 . 第 2 次中期 5 カ年経営計画の戦略



4 - 5 . 伸長事業の製品群

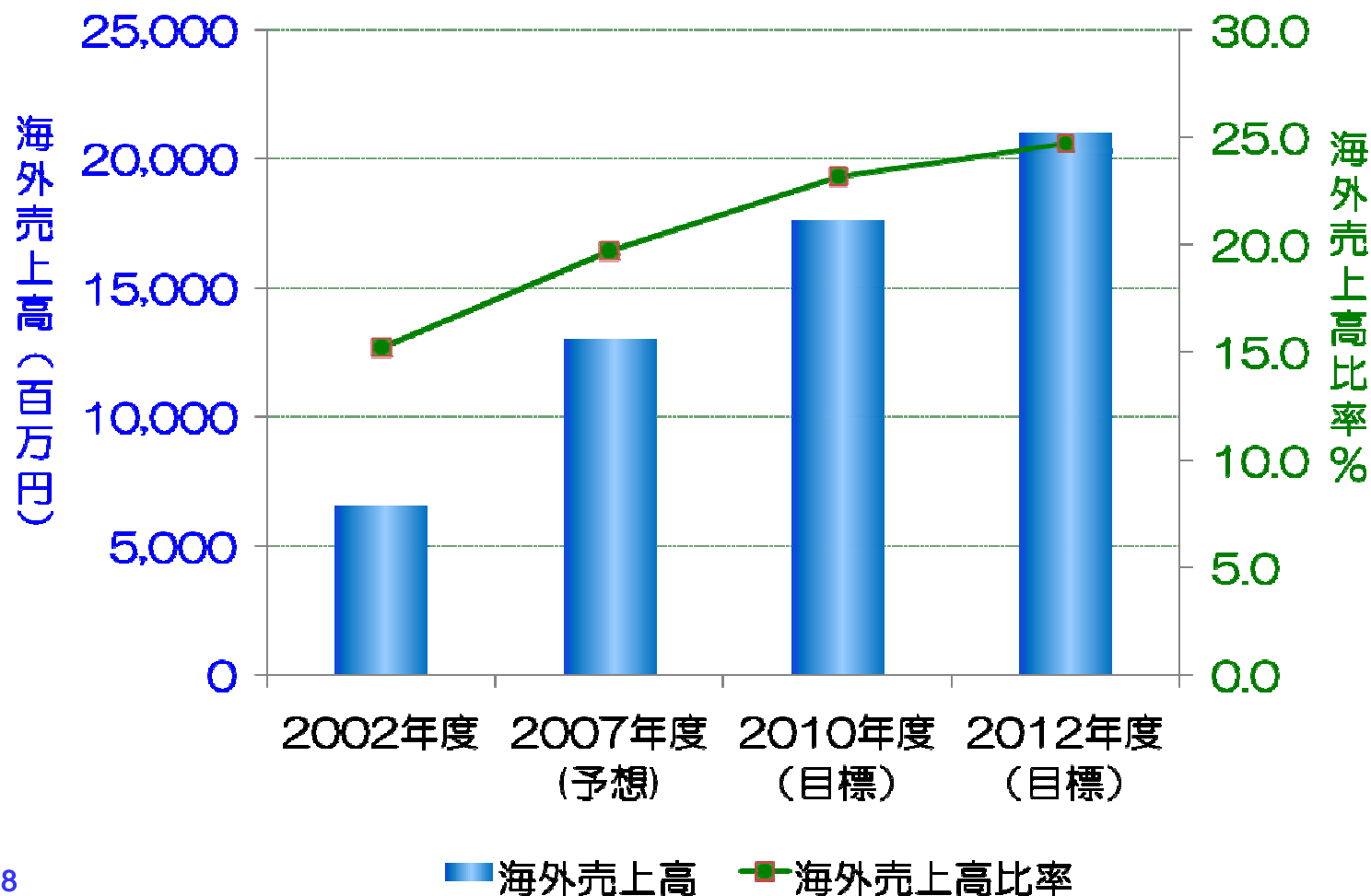
全製品を拡大、2012年度に売上高200億円突破を目指す



4 . 第2次中期5カ年経営計画の戦略

4 - 6 . 海外展開

基盤・伸長とも拡大、2012年度海外売上高200億円突破を目指す



4 . 第 2 次中期 5 ヲ年経営計画の戦略

4 - 7 . 新規事業・新技術の創生

荒川化学グループの次なる柱となるべき 新規事業と新技術の創生

- ・ 開発マネジメントシステムの構築による、
新規事業・新技術の的確な調査・企画力の向上
- ・ ロジン関連技術をはじめとするコア技術の選定・開発
- ・ 技術提携を含めた不足技術の確保
- ・ 知的財産戦略の構築・実施

4 . 第 2 次中期 5 ヲ年経営計画の戦略

4 - 8 . 経営・事業基盤の整備と強化

荒川化学グループ最適の経営を目指し、全てのステークホルダーから信頼される企業として社会的責任を果たす

- ・ サプライチェーンマネジメント体制の構築
- ・ 品質・環境・保安統合管理システムの構築
- ・ 当社グループに適した社会貢献の推進
- ・ コーポレートガバナンス体制の更新・改革による、企業価値の維持・向上

4 . 第2次中期5ヵ年経営計画の戦略

4 - 9 . 投資金額、減価償却費および研究開発費

5ヵ年合計

投資金額 250億円、研究開発費 150億円を予定

	第1次中計 5ヵ年合計	第2次中計 5ヵ年合計	増加率
投資金額	約150億円	約250億円	+66.7%
減価償却費	約90億円	約180億円	+100.0%
研究開発費	約120億円	約150億円	+25.0%

投資金額には設備投資以外の株式取得費用等も含む

5 . 株主還元策

基本方針

安定的な配当を維持しつつ、
積極的な株主還元策に取り組む

連結配当性向

- ・ 25%程度を目処とした安定配当の維持に努める
- ・ 将来的には30%以上を目指す

6. まとめ

2012年度目標

売上高850億円 経常利益55億円

躍動する企業集団へ

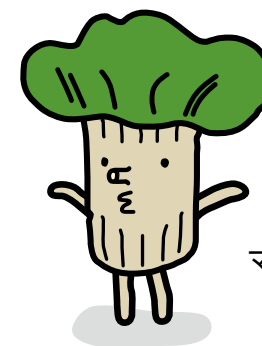
「PINE DASH 1000」

基盤事業のさらなる拡大
伸長事業の拡大
新規事業・新技術の創生
経営・事業基盤の整備と強化

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



マツタロウ